

# 令和6年度 熊本市 英語教育改善プラン

## 目標

**授業中、児童による言語活動を行っている割合が上昇するよう言語活動の充実を図る**

○授業において、50%以上の時間、児童による言語活動を行っている学校が、90%以上となることが目標

(R5: 5年生88% 6年生89% ⇒ R6: 5年生93% 6年生91%)

### 1. 目標に対する現状

改善が進んだ点

①小学校5, 6年生ともに、約9割の学校で授業中、50%以上の時間、言語活動を行っている。

(R4: 5年93%⇒ R5: 5年88%)

(R4: 6年91%⇒ R5: 6年89%)

未だ改善が必要な点

①CAN-DOリスト形式での学習到達目標の設定状況について、13校が未設定である。

＜設定状況＞

(R4:100% ⇒ R5:86%)

R4:92校中92校

R5:92校中79校

### 2. 要因分析

①小学校教員を対象としたブラッシュアップイングリッシュセミナーで、言語活動の充実について研修を行った。また、教育センターによる授業づくり支援訪問で指導・助言を行った。

①各学校で授業の目標の設定はされているが、評価、達成の把握に関する指導上の必要性や有効性が十分に理解されていない。CAN-DOリストは各学校において活用が十分でない。

### 3. 目標を達成するための施策・事業

①小学校教員を対象としたブラッシュアップセミナー研修会の実施や、教育センターによる授業づくり支援訪問を通して、外国語教育の充実を図る。

①①の研修会で、各学校の学習到達度目標をまとめたCAN-DOの設定、共有、達成状況の把握のサイクルを研修者が確認する。具体的には、各学校の取組を共有する場面を設定し、CAN-DOリストの効果的な活用について考え、言語活動の充実につなげる。

・一定の英語力を有する教員採用の志願者数を増やすために、今年度も引き続き一定の英語力について取得見込みの者まで加点对象とすることで、志願者の拡充を図る。

# 令和6年度 熊本市 英語教育改善プラン

## 目標

授業中、生徒による言語活動を行っている割合が上昇するよう言語活動の充実を図る

○CEFR A1レベル相当以上の英語力を習得または有すると思われる生徒の割合 (R5: 56.1% ⇒ R6: 60%)

○授業中、50%以上の時間、生徒による言語活動を行っている学校が、70%以上となることが目標 (R5: 56.3% ⇒ R6: 70%)

### 1. 目標に対する現状

改善が進んだ点

①中3生の求められる英語力について、CEFR A1相当を有すると判断できる生徒が約56%であり、全国の平均より高い現状である。  
(R4:57.3% ⇒ R5:56.1%)

未だ改善が必要な点

①授業における、生徒の英語による言語活動について、50%以上の時間言語活動を行っている学校は約56%にとどまり、昨年度より減少している。  
(R4:77% ⇒ R5:56.3%)

### 2. 要因分析

①教育センターの授業づくり支援訪問や英語教員を対象とした研修会等で授業改善への意識が高まったことと、英検IBAを活用して、客観的に英語力を判断できていることで、生徒の学習意欲が高まると同時に、教員も、質の高い英語指導に向けて授業改善を行っていることが要因だと考える。

①英語を使用する場面が言語材料についての理解を深める活動で終わっている授業が見られる。教師の言語活動の意義についての理解が十分とは言えない。また、授業でのALTの活用頻度についても学校間で差が見られる。

### 3. 目標を達成するための施策・事業

①中学校教員を対象としたパワーアップングリッシュセミナーやSD研修の実施、文部科学省前調査官を講師に招聘した研修の実施、教育センターによる授業づくり支援訪問を通して、授業改善をさらに推進することで、生徒の英語力の更なる向上につなげる。

①①の研修会において、思考力・判断力・表現力等の育成に重点をおいた言語活動では、習得した知識・理解をコミュニケーションの目的・場面・状況に応じて活用できることを確認し、活動例を共有しながら理解を深める。

①教科指導力向上支援事業にて、教師の指導力向上のために指導・助言を行う。本市教育センターと連携し、授業づくり訪問やALTの授業訪問を通して、言語活動の意義や必要性について指導・助言を行う。

①研究員活動を学校現場に広く周知し、実践を共有することで、教師の指導力向上につなげる。

# 令和6年度 熊本市 英語教育改善プラン

## 目標

授業中、生徒による言語活動を行っている割合が上昇するよう言語活動の充実を図る

○CEFR A2/B1レベル相当以上の英語力を習得又は有すると思われる生徒の割合 (R5: A2以上41.9%、B1以上18.7% ⇒ R6:A2以上50% B1以上20%)  
○コミュニケーションⅠの授業で、50%以上の時間、生徒による言語活動を行っている学校が、70%以上となることが目標。(R5: 33% ⇒ R6: 70%)

### 1. 目標に対する現状

改善が進んだ点

①高3生の求められる英語力について、CEFRA1相当を有すると判断できる生徒（普通科）が53.8%となり、昨年と比べて増加している。  
(R4:50.5%⇒R5:53.8%)

未だ改善が必要な点

①コミュニケーションⅠの授業中、50%以上の時間、言語活動を行っている学校（学科）の割合が約33%である。  
(R4:約67% ⇒ R5:約33%)  
R4:2/3人 R5:1/3人

### 2. 要因分析

①英語教員を対象とした中高合同の研修会や校内研修の充実により、教師の授業改善が推進され、結果生徒の英語力の向上につながったものと考えられる。

①英語を使用する場面が言語材料についての理解を深める活動で終わっている授業が見られる。教師の言語活動への理解をさらに高める必要がある。

### 3. 目標を達成するための施策・事業

①中高の教員を対象としたパワーアップイングリッシュセミナーやSD研修を実施し、教師の授業改善を継続して推進することで、生徒の英語力の一層の向上につなげる。

①本市教育センターによる授業づくり支援訪問や教科研究会等を通して、課題や改善点を明確にし、効果的な言語活動の時間が設定できるように指導・助言を行う。また教員交流を通して、小中との連携を積極的に図り、小中高の接続を意識した授業を高校でも行うよう助言する。

①外国語指導助手指導力等向上研修を通して、チームティーチング力を高める。

①教師の英語力・指導力の向上のための実践的なオンライン研修等の研修を通して、指導力向上へとつなげる。

熊本市教育委員会

| 校種   | 指標内容                                |            | 2023 |      | 2024 |     | 2025 |     | 2026 |     | 2027 |     |
|------|-------------------------------------|------------|------|------|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|
|      |                                     |            | 目標値  | 達成値  | 目標値  | 達成値 | 目標値  | 達成値 | 目標値  | 達成値 | 目標値  | 達成値 |
| 高等学校 | ①CEFR A2レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合（％）     |            | 50   | 41.9 | 50   |     | 60   |     | 60   |     | 60   |     |
|      | ①CEFR B1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合（％）     |            | 10   | 18.7 | 20   |     | 25   |     | 30   |     | 30   |     |
|      | ②授業における、生徒の英語による言語活動の割合（％）          |            | 60   | 16.7 | 60   |     | 60   |     | 60   |     | 60   |     |
|      | ③スピーキングテストとライティングテストの両方を実施した割合（％）   |            | 60   | 100  | 100  |     | 100  |     | 100  |     | 100  |     |
|      | ④「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況        | 設定（％）      | 100  | 50   | 100  |     | 100  |     | 100  |     | 100  |     |
|      |                                     | 公表（％）      | 100  | 0    | 100  |     | 100  |     | 100  |     | 100  |     |
|      |                                     | 達成状況の把握（％） | 100  | 50   | 100  |     | 100  |     | 100  |     | 100  |     |
|      | ⑤CEFR B2レベル相当以上の英語力を有する英語担当教員の割合（％） |            | 75   | 100  | 80   |     | 80   |     | 80   |     | 80   |     |
|      | ⑥英語担当教員の授業における英語使用状況（％）             |            | 40   | 56.3 | 60   |     | 60   |     | 60   |     | 60   |     |

| 校種  | 指標内容                                |            | 2023 |      | 2024 |     | 2025 |     | 2026 |     | 2027 |     |
|-----|-------------------------------------|------------|------|------|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|
|     |                                     |            | 目標値  | 達成値  | 目標値  | 達成値 | 目標値  | 達成値 | 目標値  | 達成値 | 目標値  | 達成値 |
| 中学校 | ①CEFR A1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合（％）     |            | 60   | 56.1 | 60   |     | 60   |     | 70   |     | 70   |     |
|     | ②授業における、生徒の英語による言語活動の割合（％）          |            | 80   | 56.3 | 70   |     | 70   |     | 80   |     | 80   |     |
|     | ③スピーキングテストとライティングテストの両方を実施した割合（％）   |            | 90   | 88.1 | 90   |     | 90   |     | 90   |     | 90   |     |
|     | ④「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況        | 設定（％）      | 100  | 97.6 | 100  |     | 100  |     | 100  |     | 100  |     |
|     |                                     | 公表（％）      | 100  | 71.4 | 100  |     | 100  |     | 100  |     | 100  |     |
|     |                                     | 達成状況の把握（％） | 100  | 73.8 | 100  |     | 100  |     | 100  |     | 100  |     |
|     | ⑤CEFR B2レベル相当以上の英語力を有する英語担当教員の割合（％） |            | 50   | 28.8 | 40   |     | 50   |     | 50   |     | 50   |     |
|     | ⑥英語担当教員の授業における英語使用状況（％）             |            | 80   | 57.9 | 70   |     | 70   |     | 80   |     | 80   |     |

| 校種  | 指標内容                        |            | 2023 |      | 2024 |     | 2025 |     | 2026 |     | 2027 |     |
|-----|-----------------------------|------------|------|------|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|
|     |                             |            | 目標値  | 達成値  | 目標値  | 達成値 | 目標値  | 達成値 | 目標値  | 達成値 | 目標値  | 達成値 |
| 小学校 | 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況 | 設定（％）      | 100  | 85.9 | 100  |     | 100  |     | 100  |     | 100  |     |
|     |                             | 公表（％）      | 100  | 69.6 | 100  |     | 100  |     | 100  |     | 100  |     |
|     |                             | 達成状況の把握（％） | 100  | 77.2 | 100  |     | 100  |     | 100  |     | 100  |     |